

トランスレーショナルリサーチを支援する

遺伝子医学 MOOK 31 号

がん免疫療法 – What's now and what's next? –

【監修】 珠玖 洋 (三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学教授)

【編集】 池田裕明 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野教授)

影山慎一 (三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学教授)

西川博嘉 (国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫 TR 分野長)

広告ご案内

(内容目次は裏面をご覧ください)

広告料金表 (消費税別)

スペース	カラー4色	1色	広告サイズ(mm)	
			ブリード判	枠つき広告
表 2 (表紙の裏)	210,000 円	170,000 円	天地 左右 257×182	天地 左右 220×150
表 3 (裏表紙の裏)	190,000 円	140,000 円		220×150
表 4 (裏表紙)	250,000 円		202×160	192×150
前 付	1P 150,000 円	1P 90,000 円		220×150
後 付		1P 80,000 円		220×150
		1/2P 45,000 円		105×150

※表 4 のサイズにご注意ください。

※ブリード判広告(裁ち落とし広告)は、

①四方 3mm の塗り足しをつけてください、②ブリード判広告サイズの各 10mm 内に文字を収めてください

- 発行予定日 2017 年 6 月
- 広告申込締切日 2017 年 5 月 8 日
- 広告原稿締切日 2017 年 5 月 15 日
- 広告原稿 データをお願いいたします
 ↑ Mac や Windows で作成したイラストレータのデータ(※要アウタイン)
※出力見本を1部添付してください。
 Powerpoint や Word で作成したデータも承ります。
- 雑誌サイズ B5 判
- 発行部数 約 5,000 部
- 価格 5,760 円 (税込) ※予価
- 広告掲載会社様には 1 部進呈いたします。

取扱い広告代理店

株式会社 エー・イー企画 担当：折戸
 〒101-0003
 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4F
 TEL : 03-3230-2744 (代表) / FAX : 03-3230-2479
 E-mail : adinfo@aeplan.co.jp

がん免疫療法 – What's now and what's next? –

監修：珠玖 洋（三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学教授）

編集：池田裕明（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野教授）

影山慎一（三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学教授）

[敬称略]

西川博嘉（国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫 TR 分野長）

第1章 総論

1. がん免疫療法 - 夢,研究,そして実現への長い道程 -
中山睿一（川崎医療福祉大学/岡山大学医歯薬学総合研究科）
2. ヒトがん免疫病態の理解と展望
河上 裕（慶應義塾大学医学部先端医科学研究所）
3. 免疫チェックポイント阻害剤のもたらしたインパクト
安達圭志・玉田耕治（山口大学大学院医学系研究科）
4. がん免疫反応の攻める側と抑える側
杉山栄里・西川博嘉（国立がん研究センター先端医療開発センター）
5. 抗がん剤による細胞死と宿主免疫応答
地主将久（バイオジェン・ジャパン(株)）
6. 腸内細菌とがん治療応答性
加藤琢磨（三重大学大学院医学系研究科）

第2章 最近のがん免疫療法開発の臨床的成果と位置づけ

1. 免疫チェックポイント阻害剤
 - 1) メラノーマに対するがん免疫療法臨床開発
山崎直也（国立がん研究センター中央病院）
 - 2) 婦人科腫瘍に対するがん免疫療法臨床開発
濱西潤三¹⁾・万代昌紀²⁾・小西郁生³⁾
¹⁾京都大学医学部附属病院、²⁾近畿大学医学部附属病院
³⁾京都医療センター）
 - 3) 肺がん免疫療法の臨床開発
堀尾芳嗣（愛知県がんセンター中央病院）
 - 4) 消化器がんに対するがん免疫療法臨床開発
土井俊彦（国立がん研究センター東病院）
2. 受容体改変 T 細胞輸注療法
 - 1) 造血管腫瘍に対する CAR-T 細胞療法
小澤敬也（東京大学医科学研究所附属病院）
 - 2) 血液がんに対するがん抗原特異的 TCR 遺伝子導入 T 細胞療法
藤原 弘（愛媛大学大学院医学系研究科）
 - 3) 固形がんに対する TCR 改変 T 細胞療法
影山慎一（三重大学大学院医学系研究科）
3. がんワクチン
 - 1) がんペプチドワクチン療法開発の成果と位置づけ
中面哲也（国立がん研究センター先端医療開発センター）
 - 2) 本邦でのがんワクチン開発と今後の動向
山田 亮・和氣加容子（久留米大学先端癌治療研究センター）
 - 3) CTL と Th 細胞を共に活性化できるがんペプチドワクチン療法の開発
平山真敏・西村泰治（熊本大学大学院生命科学研究部）
 - 4) タンパクおよび長鎖ペプチドによるワクチン
岡澤晶子・和田 尚（大阪大学大学院医学系研究科）
4. 腫瘍溶解性ウイルス
 - 1) 腫瘍溶解性ウイルス開発のがん免疫療法での位置づけ
谷 憲三朗（東京大学医科学研究所）
 - 2) 遺伝子組換え単純ヘルペスウイルス型(G47Δ)を用いた悪性グリオーマのウイルス療法
伊藤博崇・藤堂具紀（東京大学医科学研究所）
 - 3) 腫瘍溶解性ウイルス HF10 による再発乳がん多発結節症例, 切除不能進行腺がん症例に対する臨床研究
粕谷英樹¹⁾・直江吉則¹⁾・一ノ瀬 亨¹⁾・廣岡芳樹¹⁾
後藤秀実¹⁾・田中舞紀²⁾
¹⁾名古屋大学大学院医学系研究科・²⁾タカラバイオ(株)

第3章 がん免疫療法臨床試験からのレッスン

1. 免疫抑制分子とリンパ球の腫瘍浸潤
村岡大輔（静岡県立大学大学院薬学研究院）
2. 宿主免疫での neoantigen の役割
松下博和・唐崎隆弘・垣見和宏（東京大学医学部附属病院）

3. 腫瘍免疫における遺伝子変異集積の意義

- 水野晋一（九州大学先端医療イノベーションセンター）
4. バイオマーカーとしての PD-L1
朝尾哲彦・吉村 清（国立がん研究センター先端医療開発センター）
 5. バイオマーカーとしての免疫抑制細胞
北野滋久（国立がん研究センター中央病院）

第4章 次世代がん免疫療法へのチャレンジ

1. 多機能性ががん免疫賦活作用を有する人工アジュバントベクター細胞
藤井眞一郎・清水佳奈子
（理化学研究所統合生命医科学研究センター）
2. アジュバントがつかなく自然免疫と獲得免疫
神沼智裕¹⁾²⁾・黒田悦史¹⁾²⁾・石井 健¹⁾²⁾
¹⁾医薬基盤・健康・栄養研究所
²⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター）
3. 新規 TLR3 アジュバントの開発
瀬谷 司・松本美佐子（北海道大学大学院医学研究科）
4. CCR4 抗体によるがん免疫療法
石田高司（名古屋市立大学医学研究科）
5. ヒト型抗 CD4 抗体 IT1208 のがん治療薬としての臨床開発
松島綱治・上羽悟史（東京大学大学院医学系研究科）
6. iPS 細胞技術を用いたがん抗原特異的 T 細胞療法の開発
前田卓也¹⁾²⁾・増田喬子¹⁾・河本 宏¹⁾
¹⁾京都大学ウイルス・再生医科学研究所
²⁾京都大学大学院医学研究科）
7. iPS 細胞由来ミエロイド細胞の大量生産とがん治療への応用
千住 覚（熊本大学大学院生命科学研究部）
8. 細胞内がん抗原を標的とした CAR-T 細胞
宮原慶裕（三重大学大学院医学系研究科）
9. 代謝制御による T 細胞機能調節
榮川伸吾・鶴殿平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）
10. T 細胞放出エクソソームによるがんの浸潤・転移抑制
瀬尾尚宏（三重大学大学院医学系研究科）
11. 複合的がん免疫療法への期待
河上 裕（慶應義塾大学医学部先端医科学研究所）
12. 免疫チェックポイント阻害療法抵抗性腫瘍への免疫療法
原田直純（三重大学大学院医学系研究科）
13. Personalized Medicine としてのがん免疫療法
池田裕明（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

第5章 わが国での開発促進に何が必要か

1. イノベーション創出拠点形成国家プロジェクトの歴史と成果そして展望 - 治療的治療法の開発に向けて -
小島伸介・西村秀雄・山中敦夫・福島雅典
（先端医療振興財団 臨床研究情報センター）
 2. わが国でのレギュレーション整備への期待
永井純正（東京大学医科学研究所先端医療研究センター）
 3. がん治療における産官学連携の推進
上田龍三（愛知医科大学）
- おわりに - 未来のがん免疫療法への期待 -
佐藤昇志（札幌医科大学）

※テーマ、および執筆者につきましては都合により一部変更になる場合がございます。